

地域コミュニティゾーンこども施設整備事業

【計画の目的】

近年、子どもや子育てを取り巻く状況は、少子化、核家族化、共働き世帯の増加、児童虐待、子どもの貧困、いじめ、不登校など、さまざまな課題により大きく変化してきており、子どもたちの健やかな成長のためには、地域社会全体で支えていくことが求められている。

そこで、市川市では、妙典地域に新設する地域コミュニティゾーン整備事業において、新たに「市川市地域コミュニティゾーンこども施設」を建設し、こどもが楽しく過ごせると同時に、地域住民、及び、子どもや子育て支援に関するNPO等の活動に利用できる施設とすることで、こどもを中心に、多世代が集い、交流することができる環境を整備する。

【計画地の概要】

- ・計画予定地 : 市川市本行徳1266番1
- ・敷地面積 : 約 3,700㎡(市川市地域コミュニティゾーン内の一部)
- ・区域区分 : 市街化調整区域(建ぺい率:50%、容積率:100%)
- ・こども施設(建築物): 建築面積 1,600㎡、延べ床面積 2,350㎡、階数 3階、高さ 13.8m
- ・道路 : 建築基準法第42条第1項第4号
- ・その他の法規制 : 都市公園法第2条第2項に定める「公園施設」
建築基準法第22条指定区域
市川市景観計画区域 市街地ゾーン

【施設のコンセプト】

「子どもの居場所」

子どもの健やかな成長を育み、創造力を伸ばす新たな遊びや学びを体験できるとともに仲間と自由に集い、寛ぐことができる施設

「親子をはじめ、様々な人々が子どもとふれあい、交流ができる場所」

子どもを交えた国際交流や世代間交流などにより、幼いころから多様性を理解し合うための出会いや学びを体験することができる施設

「地域の人々のコミュニティとなる場所」

人々が、様々な体験をすることができ、また、交流を深める活動を楽しむなど、地域の賑わいの拠点となる施設

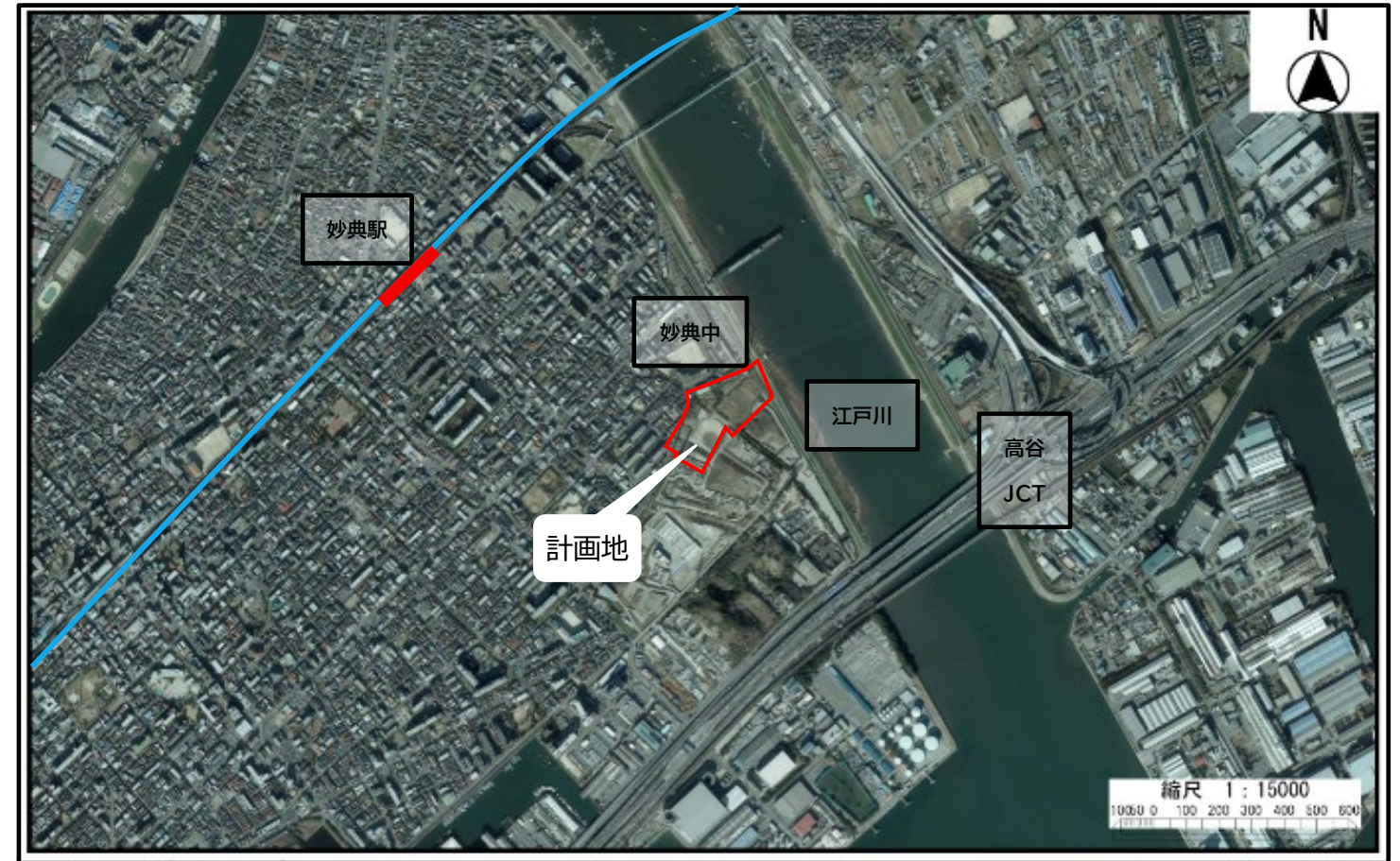
「環境負荷の低減を実現する施設」

省エネルギー化及び再生可能エネルギーの活用による創エネルギーを進め、環境負荷の低減を実現する施設

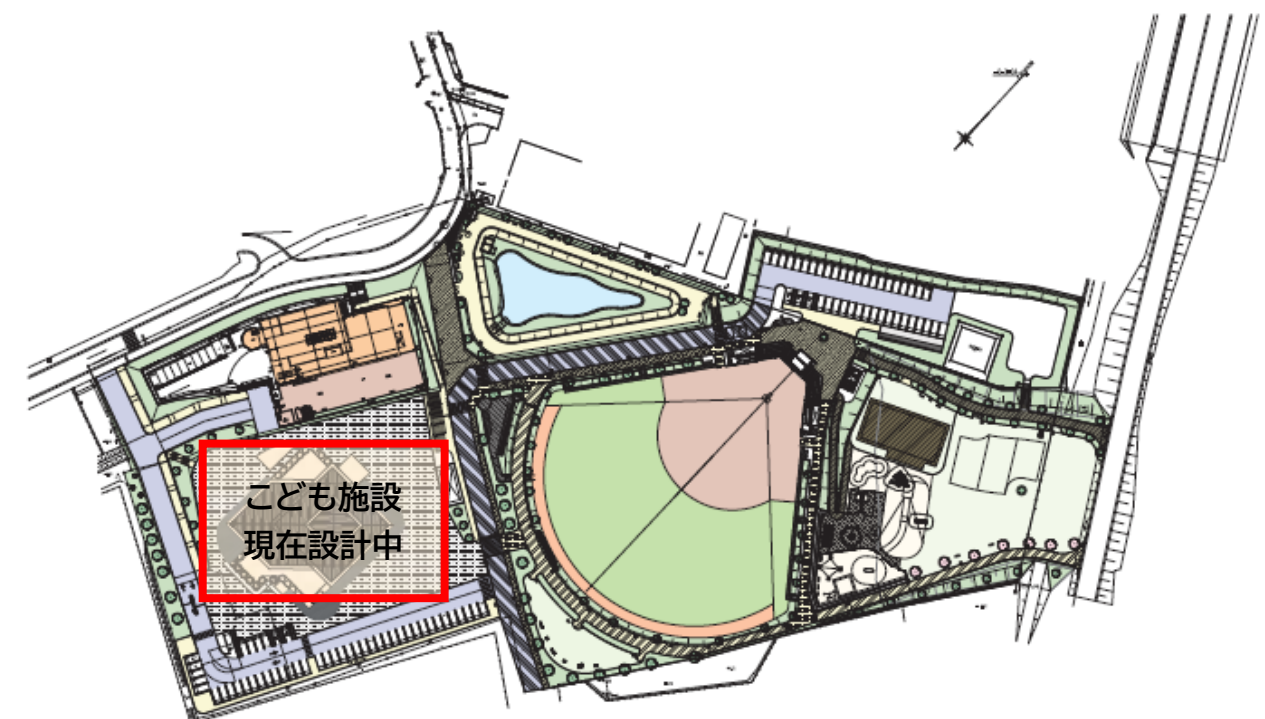
「公園、パーベキュー広場、少年野球場など、ゾーン内の他の施設と連携する活力ある場所」

公園全体の景観と調和し、美しい景観を形成するとともに、公園内の各施設の機能と連携することにより、活力ある市民の活動の場となる施設

【位置図(航空写真)】

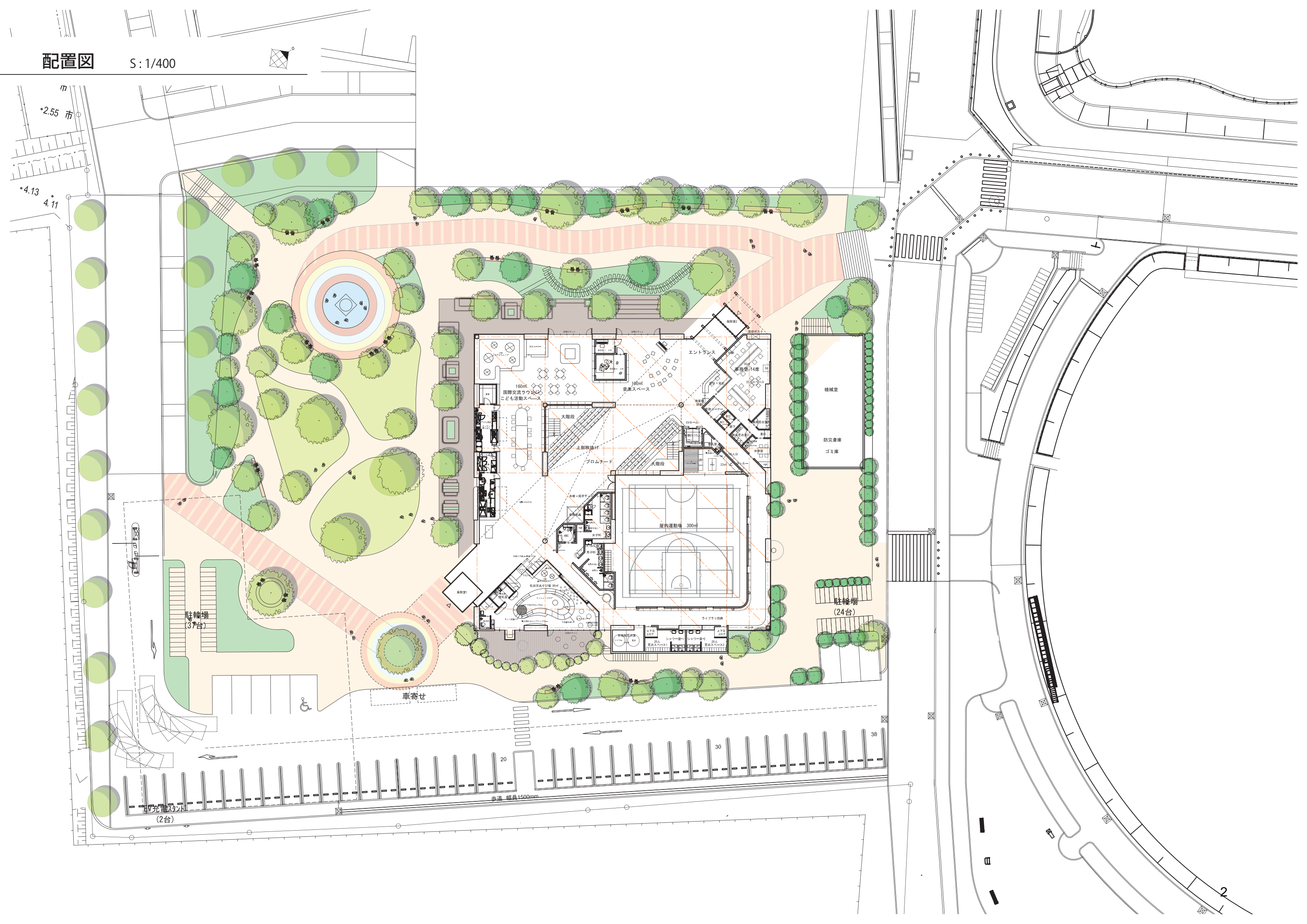


【施設の配置図】



配置図

S: 1/400



2.55 市
4.13
4.11

駐輪場 (37台)



車寄せ

駐輪場 (24台)

EV充電スタンド (2台)

歩道 幅員1500mm

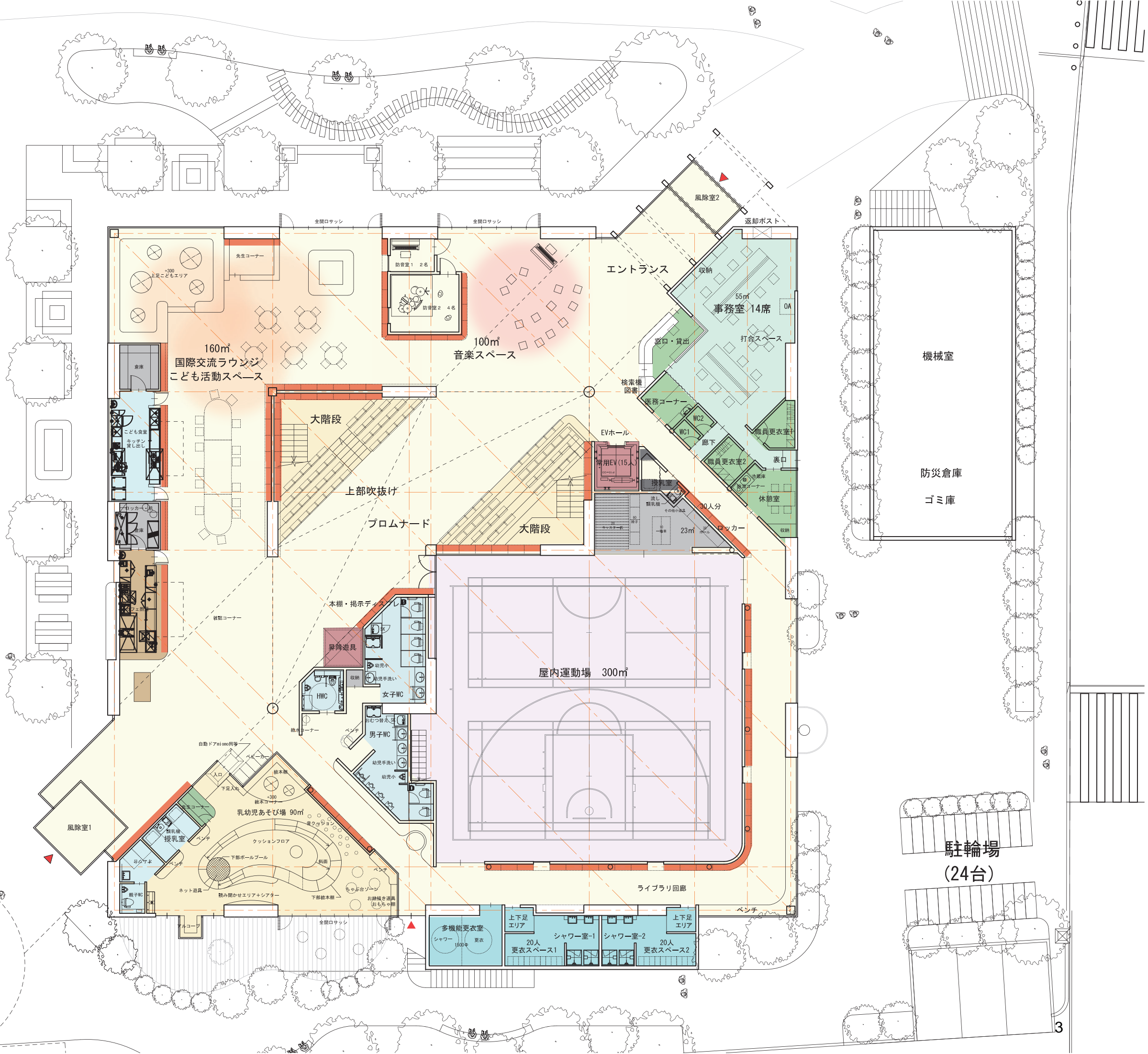
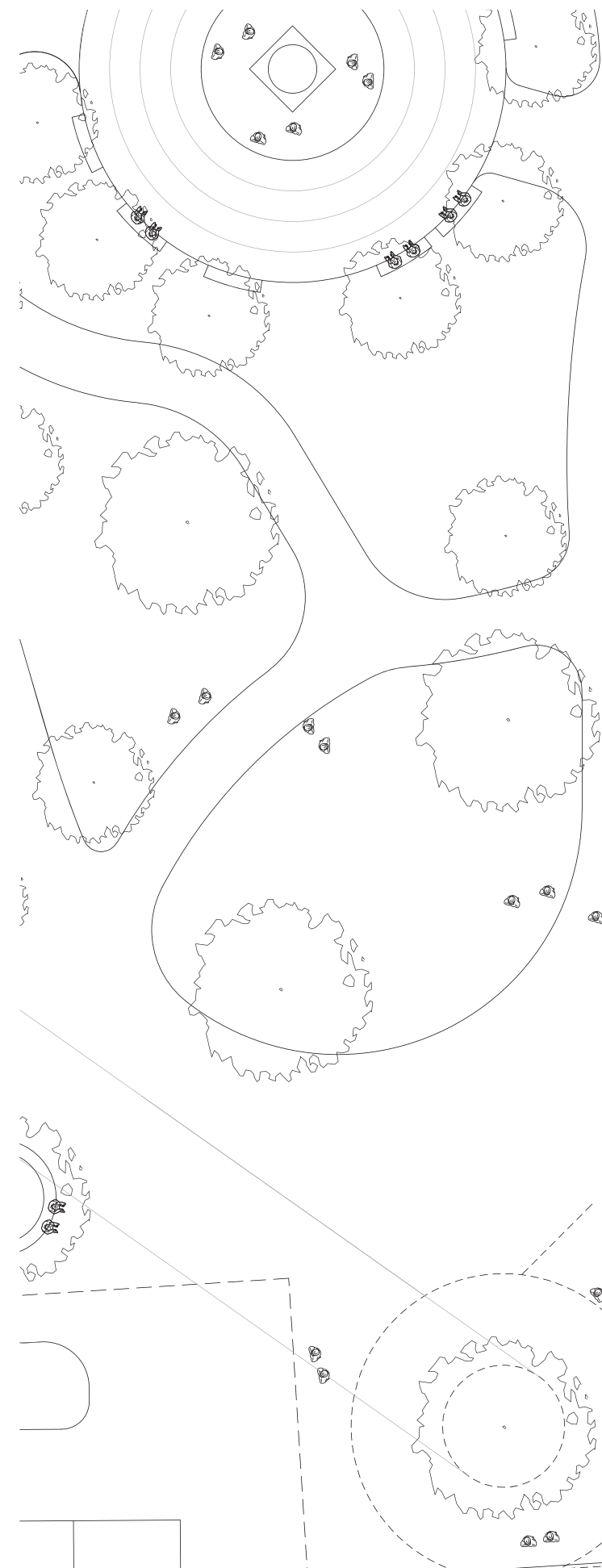
20

30

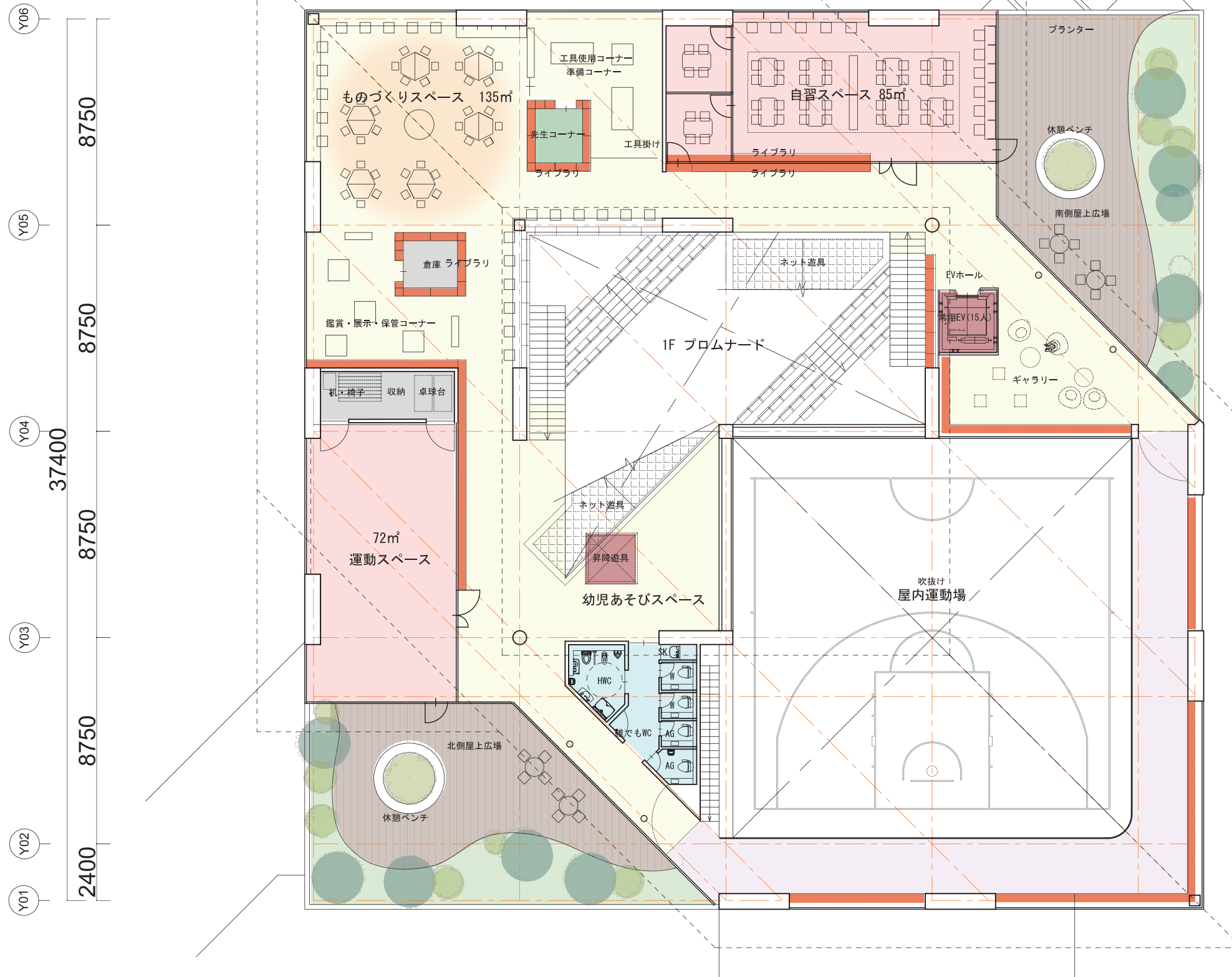
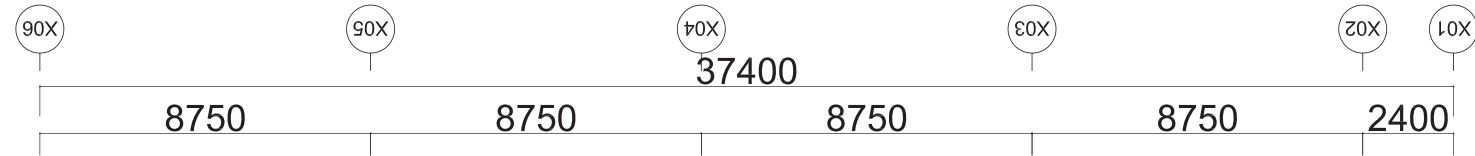
38

1階平面図

S: 1/200



2階平面図 S: 1/200

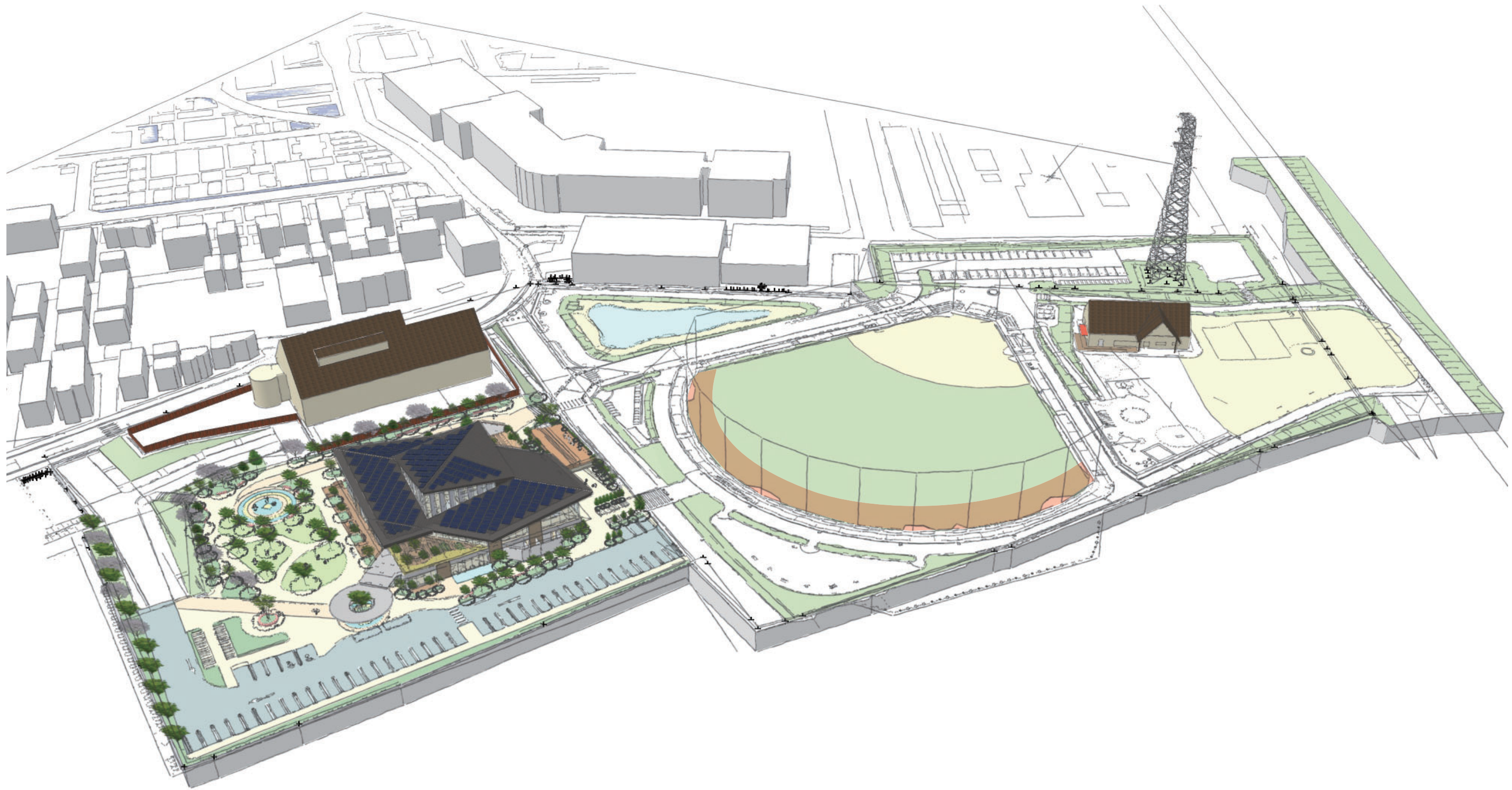


建築面積	延べ床面積	
1600	1階	1600
	2階	750
	ネット	—
	合計	2350

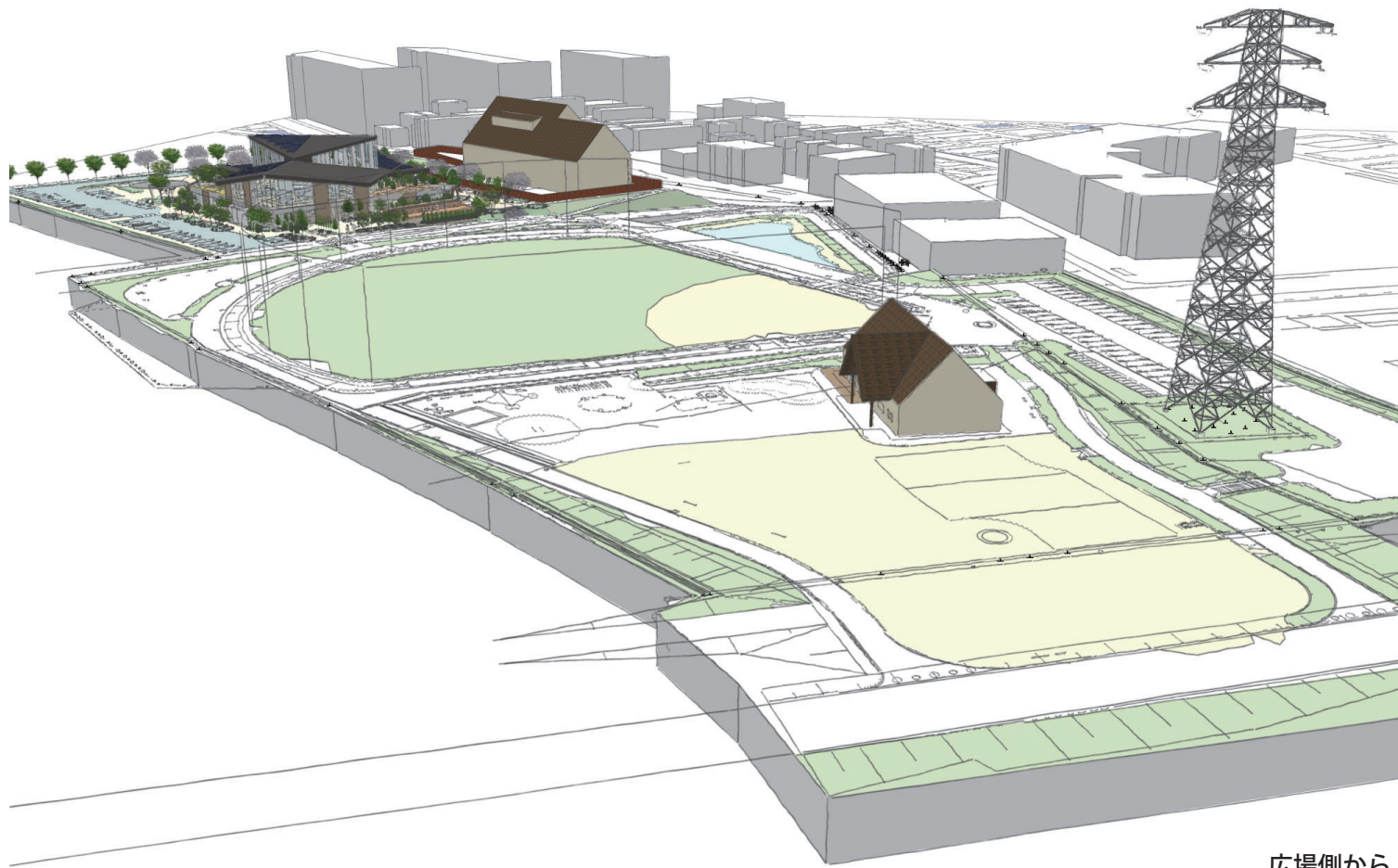
景観計画 - こども施設鳥瞰イメージ



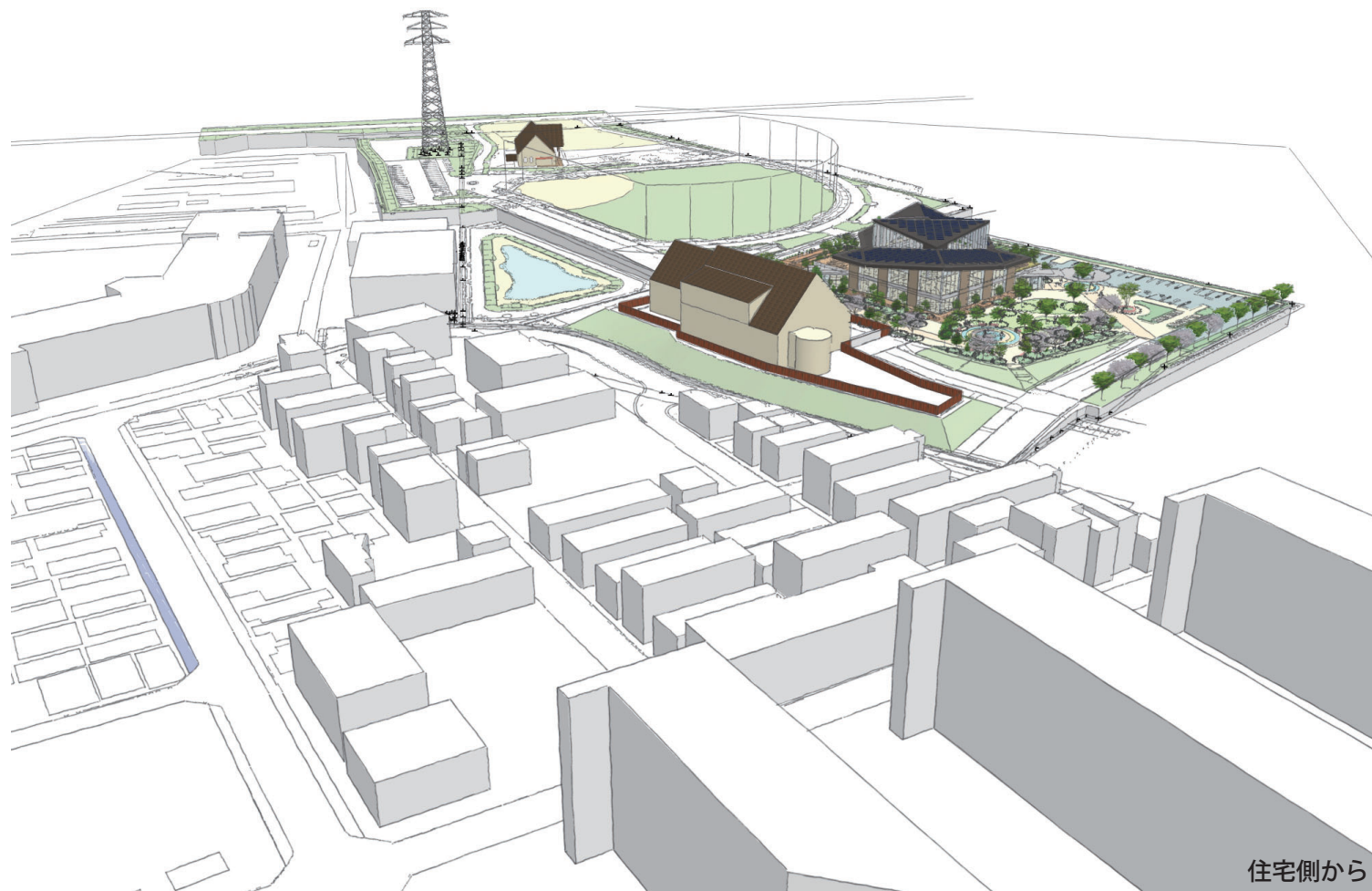
景観計画 - 市川市コミュニティゾーン 全体鳥瞰イメージ



景観計画 - 市川市コミュニティゾーン 全体鳥瞰・アイレベルイメージ



広場側から



住宅側から

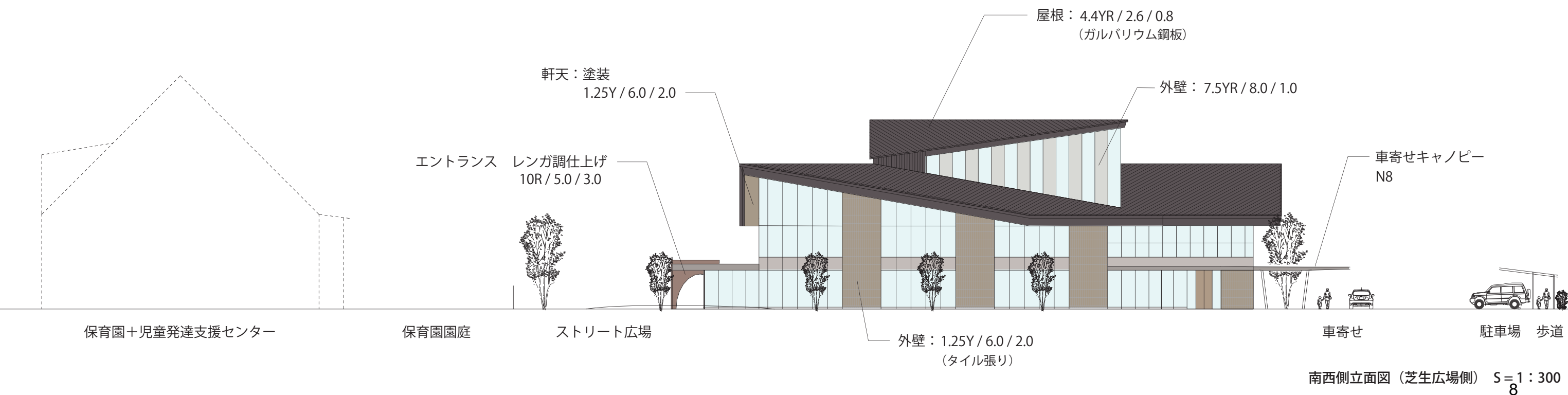
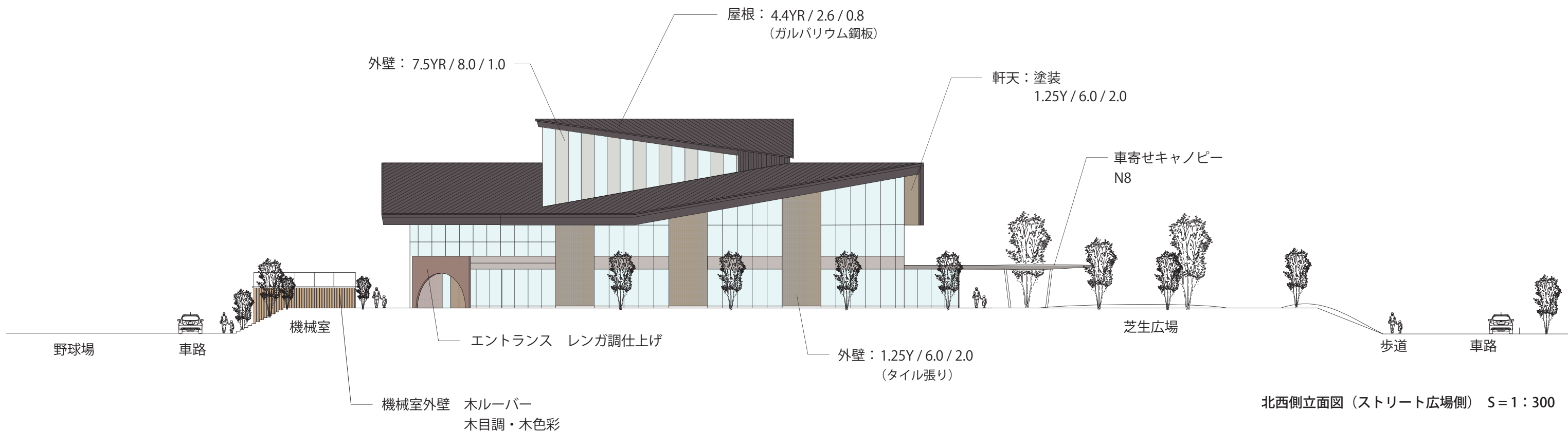


芝生広場

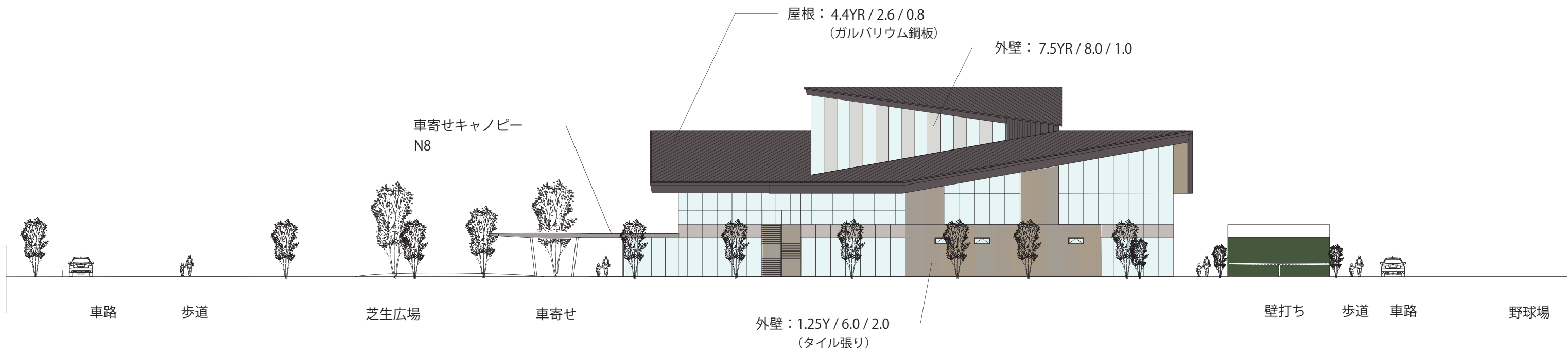


ストリート広場

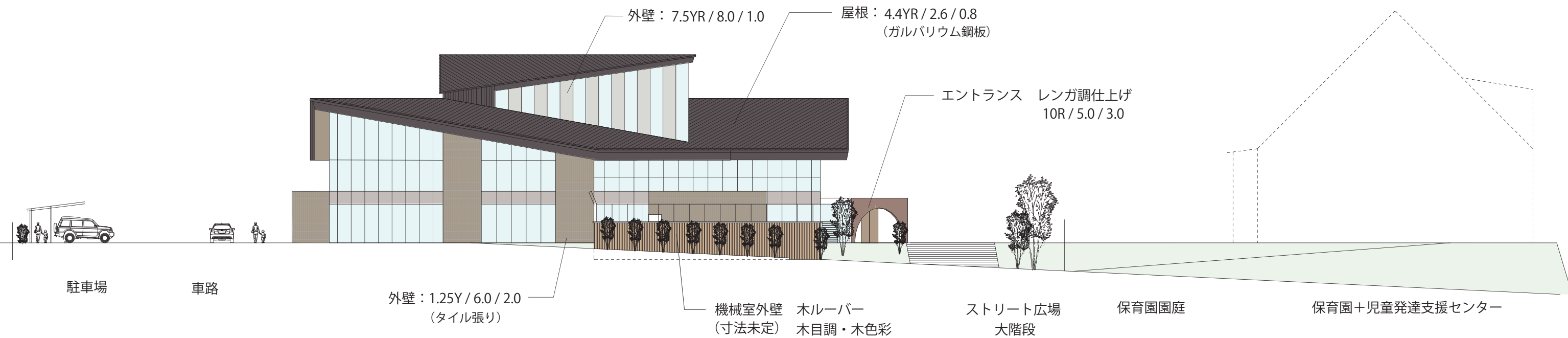
景観計画 - 立面イメージ



景観計画 - 立面イメージ2



南東側立面図（駐車場側） S = 1 : 300



北東側立面図（野球場側） S = 1 : 300